

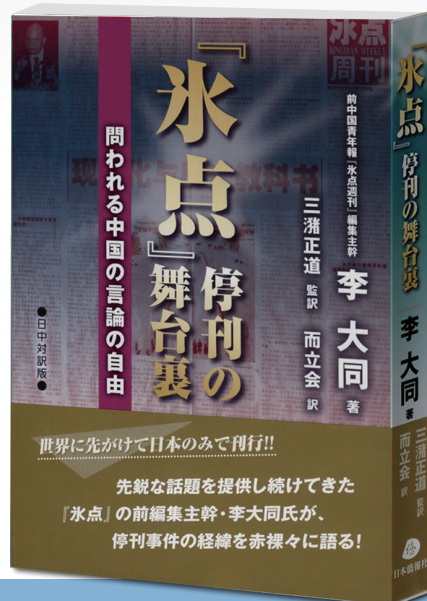
『氷点』停刊の舞台裏

—問われる中国の言論の自由—

この事件は世界中のメディアに大きなニュースとして取り上げられた。また、中国国内でも多くの知識人や元高官たちが当局を非難し、『氷点』復刊を要求……先鋭な話題を提供し続けてきた『氷点』の前編集主幹・李大同氏が、停刊事件の経緯を赤裸々に語る！

李大同（り だいどう） 1952年、中国四川省南充に生まれる。1954年、両親とともに北京へ。1968年、「知識青年」として内モンゴル草原の人民公社生産隊に下放。1979年7月、中国青年報社に入社。その後、駐内モンゴル自治区記者、本社特別記者、編集者、編集主任などを歴任。1989年、首都マスコミ関係者1000名と中央指導者との対話活動の発起人となり、職を追われる。1995年、『氷点週刊』創刊。2006年1月に起きた『氷点』停刊事件によって編集主幹を免職となる。主な著書に『氷点故事』（廣西師範大学出版社 2005年11月、日本語版は日本僑報社より11月発行）。

日本僑報社 ISBN 978-4-86185-037-1



前中国青年報
『氷点週刊』編集主幹
李大同著 而立会訳 三瀧正道監修

読書 12版▲
2006年(平成18年)7月16日 日曜日
享月 日 楽斤



『氷点』停刊の舞台裏 李大同(著)

中国言論界の生々しいドキュメント

10日間で一気に書かれた本

三瀧正道監訳、日本僑報社・2625円／リ・だいどう 52年生まれ。ジャーナリスト。前『氷点』編集主幹。

■ 『氷点』停刊の舞台裏 李大同(著)

中国言論界の生々しいドキュメント

中国のメディアという、独裁を維持するための宣伝装置を思い浮かべる人も多いたろう。確かに共産党の情報統制システムは健在だ。党の政策方針を逸脱した言動がないか、新聞や雑誌のみならずインターネットにも当局の目が光っている。しかし様々な通信手段が発達し経済や文化のグローバル化が進んでいる今日、いつまで人々の本音を抑え込むことができようか。

本年一月、有力な全国紙の一つである『中国青年報』の週刊付属紙『氷点』が停刊を命じられた。そのきっかけは広州の中山大学の教授による中国の歴史教科書批判を掲載したことだった。教科書が義和団の残忍な犯罪行為を非難しないことを取り上げ、中国と外国との紛争では中国が必ず正しく、反列強、反西洋人、すなわち愛国だと教えることは非理性的な排外主義をもたらしと喝破した論文だ。本書は、同文の掲載から停刊、そして関係者の処分と復刊までの顛末を前編集主幹が赤裸々に語った記録である。

今回、憲法と党規約に書かれた権利を盾にした著者の抵抗は裏切らなかつたが、世界に向けた発信力はもはや抑圧されえない。狭い地球の大きな国で、自由を求める言論人と権力とのあつつきは今後一層激化するであろう。

評・高原 明生（東京大学教授）

書には、残念ながら中国の統治機構など日本の読者向けの背景説明がやや不足し、それが故の誤訳も散見される（本書には中国語の原文が付く）。しかし問題の本質は明瞭だ。40年前の文革開始との類似性を突かれて共産主義青年団の第一書記が絶句するなど、数々の生々しい会話記録には圧倒的な迫力がある。本書は中国での発行を禁止されたというが、メディアの実情を内側から明らかにした衝撃はそれほど大きいとも言えよう。

中でも興味深いのは、統制する側も報道する側もネット上に現れる反応に敏感であることだ。言論の自由がない状況で民意を知るには、匿名の書き込み頼りざるを得ない面がある。だが激しくなりがちなネット上の言説が世論とみなされるのならば、その危うさは言うまでもない。

今回、憲法と党規約に書かれた権利を盾にした著者の抵抗は裏切らなかつたが、世界に向けた発信力はもはや抑圧されえない。狭い地球の大きな国で、自由を求める言論人と権力とのあつつきは今後一層激化するであろう。

ご注文は、日本僑報社 e-shop (中国研究書店) をご利用いただくか、またはこのチラシを書店にご提示ください。(トーハン 日販 その他 取次コード: 5752)

 おかげさまで 20周年 since 1996	『氷点』停刊の舞台裏 ISBN 978-4-86185-037-1 発行日: 2006年6月28日 A5判 300頁 並製 定価: 本体 2700円 + 税	注文部数	ご注文 / 番線印 ご注文の方は、注文部数、住所、氏名、電話番号をご記入ください
	日本僑報社 e-shop http://duan.jp	部 (送料無料)	
送信 FAX 03-5956-2809			

発行元: 日本僑報社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 3-17-15 Tel: 03-5956-2808 Fax: 03-5956-2809 info@duan.jp <http://jp.duan.jp>

●三菱東京UFJ銀行 池袋西口支店 (普) 5271402 カ) ニホンキョウハウ ●郵便振替口座番号 00140-3-583886 ※振込手数料はお客様負担をお願いします